

◆音楽科 目指す子供の姿の系統表◆

小1 小2 小3 小4 小5 小6 中1 中2 中3

9年間で目指す  
自律性が  
育まれた姿

①音楽活動を楽しみながら、音楽を形づくっている要素を知覚・感受する姿					
②音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さを感じ取り、自己の思いや意図を主体的に表現するための知識・技能を獲得しようとする姿					
③音楽表現には多様性があることを理解するとともに、創造的な表現方法を試行錯誤し、自他の表現方法について共有しようとする姿					
④自己の感性を通して音楽を見つめ、音楽を形づくっている要素を関連付けたり組み合わせたりしながら「見方・考え方」を習得、活用し、生活の中で音楽を学ぶ意味を自覚する姿					

(小)第1学年及び第2学年 (小)第3学年及び第4学年 (小)第5学年及び第6学年 (中)第1学年 (中)第2学年 (中)第3学年

目標

(1)楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 (2)基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。 (3)様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴くようにする。	(1)進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 (2)基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。 (3)様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。	(1)創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 (2)基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。 (3)様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。	(1)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 (2)多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 (3)多様な音楽のよさや美しさを感じ取り、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。	(1)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 (2)多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 (3)多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。
---	---	--	--	--

鑑賞

・進んで楽曲を聴き、楽曲を特徴付ける要素に着目することを通して、楽曲の気分や、それを特徴付ける要素のかかわり合いに気づき、楽曲の楽しさを味わう姿。	・進んで楽曲を聴き、曲想やその変化を感じ取り、その根拠について考えようとして、楽曲を特徴付ける要素から生まれるよさや面白さに気づきながら、音楽のよさを考えようとする姿。	・主体的に楽曲を聴き、楽曲を特徴付ける要素のかかわり合いから生まれるよさや面白さを感じ取り、その根拠について考えようとして、楽曲の根拠や演奏の良さを言葉で表すなどして理解し、自分なりの音楽のよさを見いだそうとする姿。	・主体的に楽曲を聴き、楽曲を特徴付ける要素や要素同士のかかわりから生まれるよさや美しさを感じ取り、その根拠について考えようとして、楽曲を特徴付ける要素と楽曲が生まれた背景や社会とのつながりを考えようとする姿。	・主体的に楽曲を聴き、楽曲を特徴付ける要素や要素同士のかかわりから生まれるよさや美しさを感じ取り、その根拠について自分なりの考えを持つことや、楽曲が生まれた背景や社会とのつながりについて追求し、よさや美しさが生み出される根拠を探る姿。
---	--	--	--	---

創作

・声や音を使った音遊びの活動や簡単な音楽づくりの活動に進んで取り組み、素材や音楽を形づくっている要素や要素同士のかかわりから生まれるよさや面白さを感じ取りながら思いや意図をもって表現しようとする姿。	・いろいろな音を使った音楽づくりの活動に進んで取り組み、素材や音楽を形づくっている要素や要素同士のかかわりから生まれるよさや面白さを感じ取り、どのような音楽をつくるかについて自分の思いや意図をもって試行錯誤しながら表現しようとする姿。	・主体的に音楽づくりに取り組み、音楽を形づくっている要素や要素同士のかかわりから生まれるよさや面白さを感じ取り、どのように音楽をつくるかについて見通しをもっていろいろな音楽表現や音楽の仕組みを生かしながら表現しようとする姿。	・主体的に創作活動に取り組み、感性を働かせて、要素や要素同士のかかわりから生まれる特質を感受しながら、創作したいイメージを持ち、イメージを音や音楽として表現するために、題材の特徴を活かして創意工夫することや、創作と社会の役割について気づく姿。	・主体的に創作活動に取り組み、感性を働かせて、要素や要素同士のかかわりから生まれる特質を感受しながら、創作したいイメージを深め、イメージを音や音楽として適切に表現するために、題材の特徴や既習事項を活用しながら創意工夫することや、創作と社会の役割について考える姿。
---	---	--	---	---

小1 小2 小3 小4 小5 小6 中1 中2 中3

単元における目指す  
子供の姿(A)と  
その姿を引き出すための手立  
ての視点(B)

<p>小学2年「 いい音 見つけて 」 「 ようすを 音楽で 」 ※鑑賞領域</p> <p>A ・楽曲を特徴付ける音に着目して聴こうとし、楽曲の気分や、それを特徴付ける要素のかかわり合いを聴き深めていき、楽曲や演奏の楽しさを実感し、楽曲全体を味わって聴く姿。</p> <p>B ・聴取対象を明確にする。</p> <p>・音楽から場面を想像しながら聴き深めていく活動の設定と、イメージと音楽的要素を結び付ける教師の関わり。</p> <p>・同じ要素が含まれる他の曲を聴き、感受や楽曲の楽しさを共有する場の設定。</p>	<p>中学2年「 モチーフと音楽 」</p> <p>A ・鑑賞活動に積極的に関わり、これまでの既習事項や自分の感性を生かして音楽がどのように構成されており、それによってどんな効果があるのかを聴き深めようとする姿。</p> <p>B ・社会生活に関わる題材を用い、聴く力を問う課題を設定。</p> <p>・課題解決に向けて自問しながら、批判的に音楽を見つめる活動の設定。</p>
<p>小学6年「 じゅんかんコードから音楽を作ろう 」</p> <p>A ・音楽的要素が生み出す働きやよさを感じ取り、要素を選択したり組み合わせたりして試行錯誤しながら自分の表現を高めていき、その変容を実感する姿。</p> <p>B ・常時活動の設定。</p> <p>・聴く活動と表現活動の一体化を図る。</p> <p>・自分や他者の演奏を聴き合ったり言葉で伝え合ったりする活動の設定。</p> <p>・価値判断のよりどころを基に自ら選択し、活用する場の設定。</p>	<p>中学3年「 学校CM 」</p> <p>A ・鑑賞や創作活動に主体的に取り組み、既習事項を生かして音楽を分析的に捉え、どの効果も聴き深め、それらを表現に生かそうとする姿。</p> <p>・単元を通して、音楽の役割や意義について考えるとともに、自分の思いや意図をもって旋律創作を主体的に行う姿。</p> <p>B ・聴く力を問う課題を設定。</p> <p>・課題解決に向けて質問づくり。</p> <p>・音楽の知覚・感受を広げるための協働の場の設定。</p>
<p>小学2年「 売り声をつくらう 」 ※鑑賞領域</p> <p>A ・売り声特有の節を音楽的要素で捉え、日本の伝統的な音楽(文化)である売り声が、言葉のアクセントや商品のイメージに合わせて声の抑揚(高さ・長さ)を変えている面白さに気づき、自分達の音楽作りに取り入れようとする姿。</p> <p>B ・同じ商品でつくった2つの売り声を比較し、「どちらの方がより伝わりやすく商品を紹介しているか、理由もはっきりさせよう」という発問から、自分とは違う考えの他者の根拠を聞き出したり、比べたりする場の設定。</p>	<p>中学2年「 the four seasons 」</p> <p>A ・音楽を聴き深め、ソネットの順番を考えると活動に主体的に取り組み、見方・考え方を内包した思考を個人がもたせ、比較・検討する対話的な学びを通して「見方・考え方」を広げる姿。</p> <p>B ・季節やソネットの順番を判断(価値意識)するとともに、その判断のもととなる「説得力のある理由」を課題と設定。</p> <p>・「見方・考え方」を広げるために自己の判断そのものの理由や判断に至った理由を比較したり検討する場を設定。</p>
<p>小学4年「 オリジナルさくら物語をつくらう 」</p> <p>A ・箏の奏法の違いによる音の響き方やその組合せで生まれる旋律のよさや面白さを捉え、他者との対話を通して、自ら捉えたものをさらに深めたり広げたりする姿。</p> <p>B ・自分の演奏やその意図、さらに旋律からイメージが伝わる理由・伝わりやすい理由について話し合う場の設定。</p>	<p>中学1年「 Bolero 」</p> <p>A ・楽曲が世の絶賛を浴びた理由や根拠を追究する活動に主体的に取り組み、見方・考え方を内包した思考を個人に持たせ、比較・検討する対話的な学びを通して「見方・考え方」を強化する姿。</p> <p>B ・「世の絶賛」を浴びた楽曲の理由(価値意識)を探り説明することを課題と設定。</p> <p>・「見方・考え方」強化するために、自己の説明や説明に至った理由を他者とともに比較したり、検討したりする場を設定。</p>
	<p>中学1年「 Call &amp; Response 」</p> <p>A ・ジャズの魅力を考えながらグループで一つのコーラスを創る活動に主体的に取り組み過程において、「見方・考え方」を内包した思考を個人でもたせ、比較・検討する対話的な学びを通して「見方・考え方」を強化する姿。</p> <p>B ・グループで一つのコーラスを創り上げ、「ジャズの魅力(価値意識)」を探ることを課題と設定。</p> <p>・「見方・考え方」を強化するために、演奏における自己の表現技術やそのポイントについて他者とともに比較したり、検討したりする場を設定。</p>